

## 研究開発プラットフォーム 活動報告書・レビューシート

令和5年度活動報告書(総括表)		
目的	農林水産・食品産業の成長産業化を図るため、農林水産・食品分野と異分野との新たな連携により、革新的技術やアイデアを集積させ、新たな価値やサービスを生み出すオープンイノベーションの場を設け、農林水産・食品分野の研究開発及び商品化・事業化を加速する。	
活動指標 及び 活動実績	①会員数	4,794(令和6年1月31日現在) (令和4年度4,450)
	②研究開発プラットフォーム数	176(令和6年1月31日現在) (令和4年度176)
	③研究開発プラットフォームの活動状況	表1参照
	④研究開発プラットフォームに所属する会員数	のべ3,652(表1参照) (令和4年度のべ3,666)
	⑤研究開発プラットフォームへの異分野・異業種の参画状況	48%(表2参照) (令和4年度47%)
	⑥上市した商品・事業を持つ研究開発プラットフォームの数	74(表3参照) (令和4年度60)
	⑦研究開発プラットフォームのプロデューサーの所属先 (令和6年1月31日時点)	1) 大学・高等専門学校
	2) 国研	30
	3) 公設試験場	17
	4) 民間企業	64
	5) その他 (一般社団法人、NPO等)	27
※上記③～⑤、⑦については、「知」の集積と活用 産学官連携協議会 研究開発プラットフォーム 活動報告書(令和5年度)(143件提出)に基づき記載。⑥については、令和4～6年度の活動報告書に基づき記載。		

「知」の集積と活用 の場 研究開発プラットフォームに対するレビュー			評価委員会の評価
項目	事務局の自己評価	評価に関する説明	
プロデューサー人材が適切に能力を発揮しているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業を中心としたプラットフォームは既に上市を果たしている、あるいは、上市に向けて活発な取組がある。</li> <li>・プラットフォームのプロデューサーが大学や国研等の研究者であっても、プラットフォーム内の企業や自治体等とコンソーシアムあるいは連携体制を組んでいるケースでは社会実装に向けた動きが活発である。また、大学発スタートアップが大手企業に株式譲渡する事例や、大学発スタートアップ設立に向けた検討をしているPFも見られる。</li> <li>・新規事業創出会議(プロデューサー等27名参加)内で実施した研究成果を分かりやすく伝えるワークにおいて、研究開発技術の用途展開先や、アプローチ可能な市場・顧客等を具体的に意識できていない様子も見受けられた。</li> </ul>	
研究開発を支援する知識・ノウハウを集約しているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度57件(昨年度70件)の研究課題に対する取組が開始されており、<u>コンソーシアムが継続的に創出されている</u>。産学連携支援事業における資金獲得相談を活用しているプラットフォームも多く、農林水産省だけでなく他省庁・自治体や財団等の補助金や民間企業の自己資金などを活用できている。</li> </ul>	
研究成果の商品化・事業化等の社会実装に向けた戦略を立てているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上市した商品・事業についての調査では、R4年時点で50PF、R5年時点で60PFが上市を達成していたが、<u>今年度新たに上市を達成したPFが14件あった。数多くのPFが社会実装成果を生み出していることは第一段階としては評価できる。</u>一方で、次の段階としてはインパクトのある成果創出を目指すべきと考えるが、現状は、商品化はできてもその先の売上げ増大などにつなげる事業化の壁は高く、<u>インパクトのある研究成果の社会実装事例は少ない。</u></li> <li>・今後、事業化に向けた伴走支援を本格化し、協議会の看板、他のプラットフォームの規範となるような<u>事業化の成功事例を生み出すことが課題。</u></li> </ul>	
プラットフォーム間での連携を活用しているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスターセッションやアグリビジネス創出フェアでは多くのPFが出席して連携を模索していた。また、PFが主催するイベントに参加するPFも見られるが、<u>PF間連携の意欲が高いのは一部のPFに限られているように見受けられる。</u></li> </ul>	
評価委員会の所見			
※評価については、A「十分」、B「普通」、C「不十分」とする。			

表1. 研究開発プラットフォームの活動状況（活動報告書提出数:143）

番号	研究開発プラットフォーム名	設立日	プロデューサー	設立時 構成員数	令和4年度構 成員数	現時点 構成員数	設立からの 増加率	令和4年度か らの増加率	PF連携の有 無	研究開発コン ソーシアム数
ス-01	ストックマネジメント効率化研究開発プラットフォーム	平成28年9月	金子 俊幸 国際航業(株)フェ ロー	2	5	5	150%	0%	無	1
ス-02	ICTでつなげる地域共生アグリ・バ リュースペース研究開発プラッ トフォーム	平成28年6月	渡辺 考一 (独)国立高等専門学 校専機構(一 社)OSTi	21	52	52	148%	0%	無	1
ス-03	アグリバリューチェーン研究開発プ ラットフォーム		塚田 充 アクセンチュア(株)							0
ス-04	AI技術を用いた露地栽培 システム 研究開発プラットフォーム		坂井 貴行 神戸大学大学院			4				0
ス-05	ICTを活用した畜産生産システム研究 開発プラットフォーム		池口 厚男 (国)宇都宮大学 農 学部 教授			42				0
ス-06	リアルハブティクス応用農作業機器研 究開発プラットフォーム	平成28年12月	永島 晃 (同)エープラスエ イ 代表社員	3		4	33%		無	1
ス-07	アグリ知識ベースによる新たな農業 基盤の創出と知財化によるグローバ ル展開研究開発プラットフォーム	平成29年8月	赤司 昌孝 (株)アルテ 代表取締役	8	14	14	75%	0%	無	2
ス-08	建設機械の農業利用研究開発プラッ トフォーム	平成30年1月	藪 哲男 石川県農林総合研 究センター 次長	4		18	350%		無	3
ス-10	次世代育種技術による品種開発推進 プラットフォーム	平成30年1月	石本 政男 (国研)農業・食品産 業技術総合研究機 構 作物研究部門 所 長	16	88	100	525%	14%	有	14
ス-11	病害虫防除研究開発プラットフォーム	平成30年2月	横田 敏恭 横田コーポレーショ ン(同) 代表	5	18	18	260%	0%	無	1
ス-12	グローバル認証される地場商品のバ リュチェーン構築研究開発プラッ トフォーム		大野 耕太郎 (株)オブティマ							0
ス-13	養鶏産業ICT研究開発プラットフォーム	平成30年2月	松元 隆博 (国)鹿児島大学 教 授	11	17	18	64%	6%	無	2
ス-14	スマート林業研究開発プラットフォーム	平成30年2月	矢田 豊 石川県農林総合研 究センター 林業試 験場 主任研究員	6	10	10	67%	0%	有	5
ス-15	植物工場高機能化研究開発プラッ トフォーム	平成30年2月	松下 幸之助 (国)島根大学 産学 連携センター 知的 財産創造部門 教授	8	14	16	100%	14%	無	0
ス-16	ゲノム解析技術を活用した食産業活 性化研究開発プラットフォーム	平成30年2月	高木 隆夫 (公財)岩手生物工 学研究センター 所 長	17	27	29	71%	7%	無	8
ス-17	薬物野菜の植物工場研究開発プラッ トフォーム	平成30年2月	釜道 紀浩 (学)東京電機大学 未来科学部ロボッ ト・メカトロニクス学 科 准教授	6	6	9	50%	50%	無	2
ス-19	果樹生産システム研究開発プラッ トフォーム	平成30年5月	伊東 明子 (国研)農業・食品産 業技術総合研究機 構 果樹茶業研究部 門生産・流通研究領 域長	6	80	103	1617%	29%	有	11
ス-20	花き生産・流通の高度化・省力化研 究開発プラットフォーム		石黒 康平 イノチオアグリ(株) 取締役開発本部長			11				0
ス-21	「Society5.0の実現に向けたデータ駆 動型ソリューション」研究開発プラッ トフォーム	平成30年10月	田中 健一 (国研)農業・食品産 業技術総合研究機 構 総括調整役	67	75	75	12%	0%	無	1
ス-22	産業技術の活用による革新的農林水 産業研究開発プラットフォーム	平成31年1月	鈴木 馨 (国研)産業技術総合 研究所 北海道セン ター 所長	1	30	26	2500%	-13%	無	6
ス-23	花き遺伝育種・生産流通利用研究開 発プラットフォーム	平成31年1月	中山 真義 (国研)農業・食品産 業技術総合研究機 構 野菜花き研究部 門 露地生産システ ム 研究領域長	70		93	33%		無	0
ス-24	ICTスマート精密林業によるサブ ライチェーン構築プラットフォーム	平成31年1月	村上 清明 (株)三菱総合研究所 リサーチフェロー	10	15	15	50%	0%	無	0
ス-25	低コスト施設園芸研究開発プラッ トフォーム	平成31年2月	安場 健一郎 (国)岡山大学 大学 院環境生命科学研 究科 准教授	31	54	63	103%	17%	無	1
ス-26	スマート水田社会普及研究開発プ ラットフォーム		島村 博 (株)イーラボ・エク スベリエンズ 事業開 発/R&D 取締役			50				0
ス-27	分業ユニットを活用した果菜生産アシ ストシステム開発プラットフォーム	令和2年1月	松本 静治 京都府農林水産技 術センター 農林セン ター 園芸部長	6	8	8	33%	0%	無	0
ス-28	「スマート農業新サービス創出」プラッ トフォーム	令和2年4月	安東 郁男 (公社)農林水産・食 品産業技術振興協 会 専務理事	13	41	41	215%	0%	無	0
ス-29	車両系ロボット農機高度運用プラッ トフォーム	令和2年10月	梅田 直円 (国研)農業・食品産 業技術総合研究機 構 農業機械研究部 門 知能化農機研究 領域長	4	7	7	75%	0%	無	0

番号	研究開発プラットフォーム名	設立日	プロデューサー	設立時 構成員数	令和4年度構 成員数	現時点 構成員数	設立からの 増加率	令和4年度か らの増加率	PF連携の有 無	研究開発コン ソーシアム数
ス-30	傾斜地対応エンジン駆動草刈りロボット研究開発プラットフォーム	令和2年11月	芋生 憲司 (国)東京大学 大学院農学生命科学研究科 教授	2	2	2	0%	0%	無	0
ス-31	自然と人に優しい自然共生型産業を 目指した農工連携研究開発プラット フォーム	令和3年1月	松添 直隆 熊本県立大学環境 共生学部 教授 宮野 英樹 (公財)地方経済総合 研究所 事業連携部 内藤 裕 (公財)地方経済総合 研究所 主任研究員	7	7	7	0%	0%	無	2
ス-32	有害鳥獣被害対策 匠の技術伝承研 究開発プラットフォーム		田口 洋美 (学)東北芸術工科大学 歴史遺産学科 教授							0
ス-33	干し柿生産における剥皮工程の完全 自動化研究開発プラットフォーム	令和3年6月	芋生 憲司 (国)東京大学 大学院農学生命科学研究科 教授	6	6	6	0%	0%	無	0
ス-34	急傾斜法面対応型草刈機研究開発 プラットフォーム	令和3年3月	西村 修 (株)エース 代表取締役	5	5	5	0%	0%	無	1
ス-35	水田作・畑作のDX研究開発プラット フォーム	令和4年2月	数 哲男 石川県農林総合研 究センター 所長	5	5	5	0%	0%	無	0
ス-36	中山間地域農業の6次産業化再生と 国土保全への田んぼのAI防災価値 化創造研究開発プラットフォーム		庄司 英一 (国)福井大学 学術 研究院工学系部門 准教授							0
ス-37	東北タマネギ生産促進研究開発プ ラットフォーム	令和4年8月	佐々木 英和 (国研)農業・食品産 業技術総合研究機 構 東北農業研究セ ンター領域長	3	15	23	667%	53%	有	1
ス-38	大分県スマート農林水産業イノベ ーション創出プラットフォーム	令和4年6月	藤谷 信二 大分県農林水産研 究指導センター 研 究企画監 外園 裕児 大分県農林水産研 究指導センター 研 究企画担当	5		5	0%		無	0
ス-39	農林水産物把持エンドエフェクタ研 究開発プラットフォーム	令和4年9月	平井 慎一 (学)立命館 立命館 大学 理工学部ロボ ティクス学科 教授	5		5	0%		無	0
ス-40	北海道水産物スマートサプライチェ ーン研究開発プラットフォーム	令和5年6月	佐野 稔 (地独)北海道立総合 研究機構 栽培水産 試験場調査研究部 部長	4		6	50%		無	0
ス-41	農村地域における無人航空機の多 目的利用に関する研究開発プラット フォーム	令和5年8月	島田和彦 (一社)農林水産航 空協会 事務局長	8		8	0%		無	0
お-01	「ニーズ指向技術革新による高品質 食資源の開発と世界に向けた産業創 出」研究開発プラットフォーム	平成28年6月	太田 与洋 (公財)未来工学研 究所	23	41	41	78%	0%	有	4
お-02	食品加工流通ビジネス研究開発プ ラットフォーム		相良 泰仁 (一社)食感性コミュ ニケーションズ 理事							0
お-03	腸内環境・腸内微生物叢を標的にし た高機能農林水産物開発プラット フォーム	平成28年6月	小川 健太 (株)プリメディカ 事業 企画部 部長	16		42	163%		無	1
お-04	「健康増進に資する機能性成分豊富 野菜」研究開発プラットフォーム	平成28年5月	久野 美和子 (一社)フードビジネ ス推進機構 専務理 事	6	28	28	367%	0%	有	1
お-05	食品加工から考える健康研究開発プ ラットフォーム	平成28年6月	塚原 正俊 (株)バイオジェット	7	28	28	300%	0%	有	3
お-06	健康長寿社会の実現に向けたセル フ・フードプランニングプラットフォーム	平成28年6月	渋谷 健 フィールド・フロー (株) 代表取締役	4	120	120	2900%	0%	無	5
お-09	健康長寿食品研究開発プラットフォー ム	平成28年9月	森 京子 愛京産業(株) 代表取 締役 大池 秀明 (国研)農業・食品産業 技術総合研究機構 畜 産研究部門 上級研究 員 大津 巖生 筑波大学理工情報生 命学術院 准教授 森 光一郎 ホクト(株) 開発研究本 部 開発研究課 係長	7	85	83	1086%	-2%	無	7
お-10	健康寿命を延ばさせる機能性農水 畜産物・食品の研究開発プラット フォーム	平成29年3月	吉國 義明 (株)Todoフォーラム 代表取締役社長	14	21	25	79%	19%	有	4
お-11	藍に関する研究開発プラットフォーム	平成29年4月	三谷 芳広 (株)ボン・アーム 代 表取締役社長	7	14	14	100%	0%	無	4
お-12	メロン機能性向上研究開発プラット フォーム	平成29年12月	田代 貴志 (株)大和コンピュー ター NB推進本部 本 部長補佐 / i農業開 発部 部長	5	5	5	0%	0%	無	1

番号	研究開発プラットフォーム名	設立日	プロデューサー	設立時 構成員数	令和4年度構 成員数	現時点 構成員数	設立からの 増加率	令和4年度か らの増加率	PF連携の有 無	研究開発コン ソーシアム数
お-13	日本型畜産・酪農研究開発プラットフォーム		松本 光人 (学)日本獣医生命科学大学 客員教授		73					0
お-15	米および米加工食品におけるイノベーション創出を目指す研究開発プラットフォーム		小出 和之 (公社)日本米穀・食糧学会 事務局長		26					0
お-16	新たな画期的機能性食品の創出に向けた研究開発プラットフォーム	平成30年1月	安間 智恵子 (有)碧山園 代表取締役	12	35	35	192%	0%	無	4
お-17	薬用系機能性樹木の栽培と利用のための研究開発プラットフォーム	平成30年1月	谷口 亨 (国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所森林バイオ研究センター 室長	8	9	9	13%	0%	有	1
お-18	きのこ類の生理・生態の科学的基盤とそれらに応用した技術研究開発プラットフォーム	平成30年1月	宮崎 安博 (国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所きのこ・森林微生物研究領域 主任研究員	12	33	33	175%	0%	無	1
お-20	高機能ナマコ製品研究開発プラットフォーム	平成30年2月	大野 明 (公財)若手生物工学研究センター 生物資源研究部 研究部長	7	12	12	71%	0%	無	1
お-21	特産作物の技術開発による高度利用プラットフォーム	平成30年2月	鈴木 達郎 (国研)農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 暖地水田輪作研究領域 作物育種グループグループ長補佐	18	100	100	456%	0%	有	10
お-22	「食による脳老化回避」研究開発プラットフォーム	平成30年2月	久恒 辰博 (国)東京大学 大学院新領域創成科学研究科 准教授	3	34	34	1033%	0%	有	8
お-23	香酸柑橘ユコウを中心とした研究開発プラットフォーム		堤 理恵 (国)徳島大学 大学院医薬学研究部 助教授							0
お-24	食のエビゲノミクス研究開発プラットフォーム		柳野 アソシエイツ (株) 代表取締役社長  喜納 惟斗 UssioBIO(株) 代表取締役社長		10					0
お-25	水質を改善することで抗糖化物質の含量増加を目指した機能性農作物の栽培と循環型栽培方法の研究開発プラットフォーム	平成30年7月	米井 嘉 (学)同志社 同志社大学 大学院生命医科学研究科 教授	5	12	13	160%	8%	無	8
お-26	ジャガイモ新技術連絡協議会プラットフォーム		村中 俊哉 (国)大阪大学 大学院工学研究科 生命先端工学 教授							0
お-27	食と健康の正しい発展と国民総長寿社会を目指して		島崎 秀雄 (特非)21世紀の食と健康文化会議 理事長							0
お-28	畜産ビッグデータ活用プラットフォーム	平成30年11月	松本 和也 (学)近畿大学 生物理工学部 教授	4	18	18	350%	0%	有	10
お-30	健康寿命の延伸を図る「食」を通じた新たな健康システムの確立研究開発プラットフォーム	平成31年1月	牛島 健博 (株)ITAGE TS 部長	3	3	3	0%	0%	無	0
お-31	高リコピンニンジン品種の育成と流通のための研究開発プラットフォーム	平成31年2月	小川 昂志 京都府 農林水産技術センター生物資源研究センター 応用研究部	3	3	4	33%	33%	無	1
お-32	機能性飼料添加剤による食肉の高付加価値化研究開発プラットフォーム	平成31年2月	竹中 昭雄 (一社)日本科学飼料協会 理事長	6	6	6	0%	0%	無	0
お-33	「水産物由来成分を活用したロコモーション機能改善素材探索」研究開発プラットフォーム	平成31年2月	岸田 太郎 (国)愛媛大学 大学院生命機能学専攻 応用生命化学コース 栄養科学教育分野 教授	11	19	20	82%	5%	有	2
お-34	健康寿命延伸に資する有用微生物を用いた食品研究開発プラットフォーム	令和2年1月	今野 宏 (株)秋田今野商店 代表取締役社長	4	4	4	0%	0%	無	0
お-36	マイクロRNAを指標とした食による予防医療の研究開発プラットフォーム	令和2年1月	河野 純範 キュービー(株) 研究開発本部 グループR&D推進部 未病改善プロジェクトチーム チームリーダー	2	2	2	0%	0%	有	0
お-37	農食連携プラットフォーム連合		久野 美和子 (一社)フードビジネス推進機構 専務理事 ／(一社)健康長寿実現推進機構 理事  塚原 正俊 (株)バイオジェット 代表取締役／(一社)健康長寿実現推進機構 理事		15					0
お-38	「熱中症予防対策商品による地域産業創出」研究開発プラットフォーム	令和2年12月	永野 武史 凸版印刷(株) 情報コミュニケーション事業本部 担当課長	7	9	9	29%	0%	無	1

番号	研究開発プラットフォーム名	設立日	プロデューサー	設立時 構成員数	令和4年度構 成員数	現時点 構成員数	設立からの 増加率	令和4年度か らの増加率	PF連携の有 無	研究開発コン ソーシアム数
お-39	骨の健康維持に貢献できる茶の研究開発プラットフォーム	令和4年2月	西尾 昌洋 (国)三重大学 大学院 院生物資源学研究 科 准教授	7	7	7	0%	0%	無	1
お-40	バルス電流殺虫技術研究開発プラットフォーム	令和4年6月	井上 陽一 (株)ジャパン・シー フーズ 代表取締役 社長	6	7	5	-17%	-29%	無	1
お-41	健康農水畜産物の研究開発連合プラットフォーム	令和4年9月	久野 美和子 (一社)フードビジネス 推進機構 専務理事 吉國 義明 (株)Todoフォーラム 代表取締役	20	18	37	85%	106%	有	3
お-42	冷凍野菜国産化研究開発プラットフォーム	令和4年12月	佐藤 文生 (国研)農業・食品産 業技術総合研究機 構 野菜花き研究部 門露地生産システム 研究領域露地野菜 花き生産技術グル ープグループ長	11		11	0%		無	0
お-43	健康寿命延伸に資する食品分子科学及び構造生物学研究開発プラットフォーム	令和4年12月	永田 宏次 東京大学大学院農 学生命科学研究科 応用生命化学専攻 食品生物構造学研 究室 教授	5		5	0%		有	1
持-01	「林産物の機能性を活用した新産業の創出」研究開発プラットフォーム		浅田 あや (一社)ASUHA			17				0
持-02	水産・海洋系産業イノベーション創造プラットフォーム	平成28年5月	斐 小波 (国)東京海洋大学 副学長/産学・地域 連携推進機構長	6		38	533%		無	7
持-03	農林水産業のためのナノテクノロジーを用いた新素材開発・新用途開発プラットフォーム	平成28年5月	古瀬 幸広 インフォリーフ(株)代 表取締役 藤澤 義和 (同)サワディカッ プジャパン 代表社員	3	22	22	633%	0%	有	1
持-04	スマート・メガスケール植物工場研究開発プラットフォーム	平成28年5月	久枝 和昇 大和フード&アグリ (株)取締役	4	13	13	225%	0%	無	5
持-05	中層・大規模木造建築推進のための研究開発プラットフォーム		平野 陽子 (株)ドット・コーポ レーション 代表取締役			34				0
持-06	農林水産・食品産業ファインバブル研究開発プラットフォーム	平成28年6月	佐藤 龍太郎 (公社)農林水産・食 品産業技術振興協 会 産学連携事業本 部長	2	27	27	1250%	0%	無	2
持-07	水産増養殖産業イノベーション創出プラットフォーム	平成28年7月	五條堀 孝 (学)早稲田大学 ナ ノ・ライフ創研究機 構 招聘研究教授	7	241	252	3500%	5%	無	15
持-08	地域共創価値創出研究開発プラットフォーム	平成28年8月	矢野 竹男 (国)三重大学 大学 院地域イノベーション 学研究科 教授	10	17	20	100%	18%	無	3
持-09	信州大学 食・農産業の先端学際研究開発プラットフォーム		國井 久美子 (国)信州大学 学術 研究・産学連携推進 機構 准教授		27					0
持-10	低価格農業を実現する革新的生産プロセス研究開発プラットフォーム	平成28年10月	山川 一義 (国)東京大学 大学 院理学系研究科グ リーン・サステイナ ブル・ケミストリー社会 連携講座 特任研究 員	4	16	16	300%	0%	無	3
持-11	さんりく養殖産業化プラットフォーム	平成28年12月	佐藤 正一 (株)釜石カリアーズ(株)代表取締 役社長 平井 俊朗 (国)岩手大学 三陸水産研究 センター長・教授 岩崎 博人 (株)東北銀行 釜石支店長 山内 皓平 (国)北海道大学 名誉教授 足立 伸次 (国)岩手大学 客員教授/(国) 北海道大学 水産学部 教授 高橋 禎 (国)岩手大学 三陸水産研究 センター 客員教授	9	31	32	256%	3%	有	3
持-12	産業用ヘンプの農業生産・製品の高度化研究開発プラットフォーム		赤星 栄志 (学)日本大学 生物 資源科学部			9				0
持-13	グリーンエネルギーファーム研究開発プラットフォーム	平成29年4月	柴田 大輔 (国)京都大学 エネ ルギー理工学研究 所 特任教授	4	18	1	-75%	-94%	無	4

番号	研究開発プラットフォーム名	設立日	プロデューサー	設立時 構成員数	令和4年度構 成員数	現時点 構成員数	設立からの 増加率	令和4年度か らの増加率	PF連携の有 無	研究開発コン ソーシアム数
持-14	木質バイオマス燃焼灰利用研究プラットフォーム	平成30年5月	平井 敬三 (国研) 森林研究・整備機構 森林総合研究所 立地環境研究領域長 山田 毅 (国研) 森林研究・整備機構 森林総合研究所 立地環境研究領域 テーム長(土壌養分管理担当)	2	5	5	150%	0%	有	0
持-15	農業・観光・DXで地域活性化研究開発プラットフォーム	平成28年9月	石垣 恭一 (株)竹橋農業研究所 代表取締役社長	10	16	17	70%	6%	有	2
持-16	土壌改良による農産物の品質向上と収量増加に関する研究開発プラットフォーム	平成29年7月	関 浩 (株)リーフ つくば牡丹園 園長	5	14	19	280%	36%	無	2
持-17	キッチンファイバー研究開発プラットフォーム	平成30年11月	伊福 伸介 (国)鳥取大学 工学研究科 教授	4	6	6	50%	0%	無	3
持-18	農耕地からのN2Oガス発生を削減し作物生産性を向上する微生物資材の研究開発プラットフォーム	平成29年11月	高谷 範子 (株)ロム 代表取締役	5		15	200%		無	1
持-20	樹木類への生物被害に関する連携研究開発プラットフォーム		佐藤 大樹 (国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所 森林昆虫研究領域長							0
持-21	植物の活性化による革新的農産物生産技術研究開発プラットフォーム	平成30年2月	岡山東農水産総合センター 生物科学研究所 専門研究員	7	33	33	371%	0%	無	8
持-22	次世代食品開発による市場創成研究開発プラットフォーム	平成30年2月	大日向 耕作 (国)京都大学 大学院農学研究科 准教授	3	5	5	67%	0%	無	3
持-23	農業分野におけるリモートセンシング技術研究開発プラットフォーム	平成30年2月	奥村 俊夫 (一財)リモートセンシング技術センター 主幹研究員	7	9	9	29%	0%	無	0
持-24	土壌伝染性ダイズ病害の生物的防除研究開発プラットフォーム	平成30年2月	小林 新 朝日アグリ(株) 開発部 部長	11		11	0%		無	1
持-25	農業・農村基盤の強靱化および持続的管理のための研究開発プラットフォーム	平成30年2月	友正 達美 (国研) 農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究部門 研究推進部長	5	27	27	440%	0%	無	0
持-26	衝撃波技術の農林水産資源への応用にに関する研究開発プラットフォーム		伊東 繁 (一社) 衝撃波応用技術研究所 理事長							0
持-27	シロシステセンチュウの高性能新規ふ化誘導化合物の探索と誘引性化合物による駆除技術の研究開発プラットフォーム	平成30年2月	広津 崇亮 (株)HIROTSUバイオサイエンス 代表取締役	5		5	0%		無	0
持-28	環境共生駆動型・食科学創成プラットフォーム		守屋 繁春 (国研) 理化学研究所 環境資源科学研究センター 専任研究員							0
持-29	次世代型家畜生産技術の研究開発プラットフォーム	平成30年2月	寺田 文典 明治飼糧(株) 研究開発コンサルタント	14	37	38	171%	3%	無	10
持-30	優良な林業用種苗の生産・普及に関するプラットフォーム	平成30年2月	倉本 哲嗣 (国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター 遺伝資源部 保存評価課長	8	15	15	88%	0%	有	1
持-31	ロバスト農林水産工学研究開発プラットフォーム	平成30年6月	石井 一英 (国)北海道大学 大学院工学研究環境創生工学部門 教授	10	56	64	540%	14%	無	29
持-32	林木の新品種作出・種苗生産の短期化に資する画期的技術の研究開発プラットフォーム	平成30年7月	黒丸 亮 (地独) 北海道立総合研究機構 フェロー	5	9	9	80%	0%	無	1
持-33	ミツバチの免疫活性化システム研究開発プラットフォーム	平成30年8月	鎌倉 昌樹 公立大学法人富山県立大学 工学部生物工学科 講師	16	16	16	0%	0%	無	0
持-34	天然物を活用した作物病害防除の研究開発プラットフォーム	平成30年11月	西内 巧 (国)金沢大学 遺伝子研究施設 准教授	6	7	7	17%	0%	有	1
持-35	地域創生に資する森林資源・木材の需要拡大に向けた研究開発プラットフォーム(略称:地創林木プラットフォーム)	平成30年11月	鮫島 正浩 (国)東京大学 名誉教授	22	81	85	286%	5%	有	5
持-36	米及び油糧米が創る新産業に係る研究開発プラットフォーム	平成30年11月	山口 與左衛門 三和油脂(株) 代表取締役社長 鈴木 康夫 (学)梅檀学園 東北福祉大学 総合マネジメント学部 教授	30	31	34	13%	10%	無	7
持-37	持続的な林業生産システム研究開発プラットフォーム	平成30年11月	酒井 秀夫 (一社)日本木質バイオマスエネルギー協会 会長	17	61	61	259%	0%	有	2

番号	研究開発プラットフォーム名	設立日	プロデューサー	設立時 構成員数	令和4年度構 成員数	現時点 構成員数	設立からの 増加率	令和4年度か らの増加率	PF連携の有 無	研究開発コン ソーシアム数
持-38	SDGsに貢献する新たな植物保護技術研究開発プラットフォーム	平成30年12月	松村 正哉 (国研) 農業・食品産業技術総合研究機構 植物防疫研究部門 基盤防除技術研究領域長 後藤 千枝 (国研) 農業・食品産業技術総合研究機構 中日本農業研究センター 研究推進部 専門員 大藤 泰雄 (国研) 農業・食品産業技術総合研究機構 植物防疫研究部門 研究推進部長	26	110	117	350%	6%	有	10
持-39	「東北農業のイノベーション技術創造」研究開発プラットフォーム	平成30年12月	川口 健太郎 (国研) 農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター 所長 山口 誠之 農研機構東北農業研究センター 研究推進部長	34	58	62	82%	7%	有	7
持-40	社会実装を目指した獣害対策研究プラットフォーム	平成31年1月	山端 直人 公立大学法人兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 教授	17		21	24%		無	1
持-41	食糧生産～消費における炭素・窒素動態制御技術開発プラットフォーム	平成31年1月	早津 雅仁 (国研) 農業・食品産業技術総合研究機構 農業環境変動研究センター 物質循環研究領域物質変換解析ユニット 主席研究員	4	18	18	350%	0%	無	0
持-42	生分解性プラスチック及び分解酵素研究開発プラットフォーム	平成31年1月	坂井 久純 (株)ユニック 参与	7	13	13	86%	0%	無	2
持-43	地下水資源利用・管理技術研究開発プラットフォーム	平成31年1月	白旗 克志 (国研) 農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究部門 上級研究員	4	6	6	50%	0%	無	2
持-45	南九州畜産研究開発プラットフォーム	平成31年1月	川島 知之 (国) 宮崎大学 農学部 教授	7	8	11	57%	38%	無	3
持-46	林内人力作業支援機械研究開発プラットフォーム	平成31年2月	仁多見 俊夫 (国) 東京大学 大学院農学生命科学研究科 准教授	5		4	-20%		無	7
持-47	定置漁業研究開発プラットフォーム	平成31年2月	水上 洋一 (国) 東京大学 生産技術研究所 シニア協力員	3	3	3	0%	0%	無	0
持-48	新規素材の発掘・利用に向けた研究プラットフォーム	平成31年3月	大庭 潔 (国) 帯広畜産大学 産学連携センター 特任教授	13	28	28	115%	0%	無	8
持-49	メディカルライズ研究開発プラットフォーム	令和1年12月	渡邊 昌 (一社)メディカルライズ協会 理事長	5	24	25	400%	4%	有	4
持-50	気孔開度制御技術研究開発プラットフォーム	令和2年1月	木下 俊則 (国) 東海国立大学機構 名古屋大学トランスオームタイプ生命分子研究所 教授	8	8	9	13%	13%	無	1
持-51	植物病害カンファレンス研究開発プラットフォーム	令和2年1月	越智 直 (国研) 農業・食品産業技術総合研究機構 農業情報研究センター 主任研究員 清水 将文 (国) 東海国立大学機構 岐阜大学 応用生物科学部 植物病理学研究室 准教授 菅 康弘 長崎県農林技術開発センター 農産園芸研究部門 鳥糞研究室 専門研究員 藤永 真史 長野県野菜花き試験場 環境部 主任研究員 守川 俊幸 富山県農林水産総合技術センター 農業研究所 副所長 吉田 重信 (国研) 農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業研究センター 生態的防除グループ長	16	28	28	75%	0%	無	2
持-52	バクテリオファージ研究開発プラットフォーム	令和2年1月	北野 光昭 (株)カネカ バイオフィアルマ研究所長	3	3	3	0%	0%	無	1
持-54	自給飼料の生産性向上研究開発プラットフォーム	令和2年1月	野中 和久 (国研) 農業・食品産業技術総合研究機構 畜産研究部門 畜産飼料作研究監	12	23	23	92%	0%	有	2
持-55	SDGsグリーンハウス研究開発プラットフォーム		山本 永 (株)イースリー 代表取締役							0



番号	研究開発プラットフォーム名	設立日	プロデューサー	設立時 構成員数	令和4年度構 成員数	現時点 構成員数	設立からの 増加率	令和4年度か らの増加率	PF連携の有 無	研究開発コン ソーシアム数
持-56	昆虫ビジネス研究開発プラットフォーム	令和2年8月	石井 実 (地独)大阪府立環境 農林水産総合研究 所 理事長 眞鍋 昇 (学)大阪国大園 大 阪 国 際 大 学 学 長 補 佐 兼 人 間 科 学 部 教 授	7	120	138	1871%	15%	無	8
持-57	高付加価値国産鶏肉研究開発プラットフォーム	令和2年12月	本田 和久 (国)神戸大学 大 学 院 農 学 研 究 科 准 教 授	9	8	8	-11%	0%	無	0
持-58	イオン水・ゲノム研究開発プラットフォーム	令和2年12月	富永 伸介 ハイパーアグリ(株) 代表取締役	3	3	3	0%	0%	無	0
持-59	ストレスフリー畜産物の研究開発プラットフォーム	令和3年1月	安部 淳一 (国)鹿児島大学 名 誉教授	8	8	8	0%	0%	無	1
持-60	サボテン等多肉植物の潜在能力掘掘と活用推進プラットフォーム	令和2年1月	前島 正義 (学)中部大学 応 用 生 物 学 部 教 授	5	13	14	180%	8%	無	1
持-61	循環型農村経済圏(スマートSDGs)の構築に向けた研究開発プラットフォーム	令和3年1月	小沢 亘 (国)山形大学 農 学 部 教 授	20	20	20	0%	0%	無	0
持-62	次世代鶏糞利活用・高品質有機肥料普及プラットフォーム	令和3年1月	安田 勝彦 (株)ハイテム 代表取 締役社長 奥野 豊 (株)クレスト 常務取 締役	3	3	3	0%	0%	無	0
持-63	作物へ耐暑性や増収減肥を誘導する新規バイオスティミュラント素材の研究開発プラットフォーム		横山 正 (国)福島大学 食 農 学 類 特 任 教 授			9				0
持-64	畜産分野における農福連携促進のための研究開発プラットフォーム	令和3年1月	石田 元彦 石川県立大学法 人 石 川 県 立 大 学 審 員 教 授 (産 学 官 連 携 学 術 交 流 セ ン タ ー コ ー デ ィ ン ー タ)	3	5	8	167%	60%	無	1
持-66	コムギの頑健性を高める根圏環境順応チューニング技術研究開発プラットフォーム	令和3年1月	坂 智広 公立大学法人 横 浜 市 立 大 学 木 原 生 物 学 研 究 所 教 授	4	4	4	0%	0%	無	3
持-67	国産漆研究開発プラットフォーム		中澤 慶久 (国)徳島大学 生 物 資 源 産 業 学 部 教 授							0
持-68	豚ロース・バラ自動脱骨技術研究開発プラットフォーム	令和3年2月	木下 良智 食肉生産技術研究 組 合 専 務 理 事	4	4	4	0%	0%	無	5
持-69	スマート養殖研究開発プラットフォーム	令和3年2月	梅川 忠典 リージョナルフィッ シュ(株) 代表取締役 社長	4	4	4	0%	0%	無	0
持-70	統合型農作物病虫害防除システム研究開発プラットフォーム	令和3年7月	小林 弘高 東日本電信電話(株) ビ ジ ネ ス 開 発 本 部 営 業 戦 略 推 進 部	3	12	13	333%	8%	無	0
持-71	「AIによる水稲管理システム」研究開発プラットフォーム		八原 政和 福井県農業試験場 場 長			4				0
持-72	東海バイオコミュニティ研究開発プラットフォーム	令和3年8月	高橋 史彦 (国)東海国立大学機 構 バイオコミュニティ 振 興 機 構 (仮 称) 設 立 準 備 室 川北 一人 (国)東海国立大学機 構 名 古 屋 大 学 審 議 役 / 東 海 バイオコ ミュニティ振興機構 (仮称)設立準備室長	27	37	37	37%	0%	無	0
持-74	「みどりの食料システム戦略」の4課題に応えるための研究開発プラットフォーム	令和4年9月	吉川泰弘 日本ワンヘルスサイ エンス学会 顧問 / (学)加計学園 岡山 理 科 大 学 獣 医 学 部 長 / (国)東京大学 名 誉 教 授 島田和彦 日本ワンヘルスサイ エンス学会 顧問 / 農 林 水 産 航 空 協 会 事 務 局 長	9	9	35	289%	289%	無	1
持-75	マルチモーダル畜産AIシステム研究開発プラットフォーム	令和5年1月	古谷 隆明 東日本電信電話(株) 部 長	8		11	38%		無	0
持-76	みどりの畜産システム研究開発プラットフォーム		大浦裕二 東京農業大学 総合 研 究 所 副 所 長							0
持-77	新たな食品加工技術の研究開発プラットフォーム	令和5年2月	石川 豊 (国)研 農 業 ・ 食 品 産 業 技 術 総 合 研 究 機 構 食 品 研 究 部 門 研 究 推 進 部 長	4		4	0%		無	0
持-78	総合的うどんこ病防除法の研究開発プラットフォーム		八丈野 孝 (国)愛媛大学 農 学 研 究 科 教 授							0
外-01	JFIT-Market (Japanese Food International Trade-Market) 研究開発プラットフォーム		中島 正弘 (独)都市再生機構 理 事 長							0

番号	研究開発プラットフォーム名	設立日	プロデューサー	設立時 構成員数	令和4年度構 成員数	現時点 構成員数	設立からの 増加率	令和4年度か らの増加率	PF連携の有 無	研究開発コン ソーシアム数
外-02	農林水産物の輸出促進研究開発プラットフォーム@九州・沖縄	平成28年5月	福田 晋 (国)九州大学 大学院農学研究院長 農学部部長	16	59	59	269%	0%	無	5
外-03	青果物の鮮度保持輸送技術研究開発プラットフォーム	平成28年5月	永田 玲士 (株)日本農業 取締役COO	4		3	-25%		無	0
外-04	科学的根拠に基づく高付加価値日本食・食産業研究開発プラットフォーム	平成28年6月	小田 和之 (株)東北テクノアー キ	4	35	36	800%	3%	無	5
外-05	日本産高級果実の超高品質世界展開技術開発プラットフォーム		小出 和之 (公社)日本栄養・食料学会 事務局長  (代理)柏崎 勝 (国)宇都宮大学 農学部		31					0
外-06	Society5.0におけるファームコンプレックス研究開発プラットフォーム	平成28年6月	吉田 重信 三菱ケミカル(株)研究開発戦略部	6	84	83	1283%	-1%	無	5
外-07	フグの次世代養殖・加工技術に関する研究開発と国内外展開のためのブランド化戦略の構築		城下 隆 (株)EECL 代表取締役							0
外-08	木質外被研究開発プラットフォーム	平成28年9月	青木 和壽 (有)和建築設計事務所 代表取締役  河合 博 (同)プラットフォーム河合 代表社員  田中 信一郎 (一社)地域政策デザインオフィス 代表理事	10	27	27	170%	0%	有	8
外-09	水産物における細菌性・ウイルス性食中毒の防除技術開発プラットフォーム		尾身 武彦 (株)竹中工務店 環境エンジニアリング本部 副部長  中村 智治 うみの(株) 代表取締役社長		4					0
外-10	「植物医学の高度化による農業生産性向上」研究開発プラットフォーム	平成29年12月	永井 恒夫 (学)法政大学研究開発センター 産学連携コーディネーター	9	16	16	78%	0%	無	0
外-11	「未来茶業」研究開発プラットフォーム	平成30年10月	根角 厚司 (国研)農業・食品産業技術総合研究機構 果樹茶業研究部門 茶業研究領域長	11	29	29	164%	0%	無	1
外-13	黒毛和種等国産食肉の適正管理技術の研究開発プラットフォーム		松村 優香 (株)神戸大学イノベーション 技術移転部アシリエイト/(国)神戸大学 産官学連携本部		3					0
外-14	国産農産物のグローバル化を促進する機能性および安全性確保のための計測技術に関する国際標準化戦略検討プラットフォーム	令和2年2月	中江 裕樹 (特非)バイオ計測技術コンソーシアム 事務局長	4	7	7	75%	0%	無	1
バ-01	次世代育種技術研究開発プラットフォーム	平成28年6月	藤本 潔 (公社)農林水産・食品産業技術振興協会 理事長	4	67	70	1650%	4%	無	17
バ-02	新品種育種法・新栽培法開発加速プラットフォーム	平成28年6月	武田 穰 (国)静岡大学 研究戦略室 特任教授・URA	27	68	69	156%	1%	無	6
バ-03	革新的病原体制御技術研究開発プラットフォーム	平成28年11月	藤枝 繁 (国)鹿児島大学 南九州・南西諸島域共創機構/産学・地域共創センター連携推進部門 特任教授	9	35	35	289%	0%	無	0
バ-05	次世代濃縮バイオ液肥研究開発プラットフォーム	平成30年2月	矢部 光保 (国)九州大学 大学院農学研究院 教授	10		20	100%		有	1
バ-06	環境調和型作物保護技術研究開発プラットフォーム	平成30年2月	蔡 晃植 (学)関西文理総合学園 長浜バイオ大学 学長	8	18	18	125%	0%	無	2
バ-07	ペプチドホルモン研究開発プラットフォーム	平成30年2月	齊藤 太香雄 三洋化成工業(株) 事業企画本部 第2研究企画開発部長 / バイオ・メディカル 事業本部 研究部長	2	6	6	200%	0%	無	1

番号	研究開発プラットフォーム名	設立日	プロデューサー	設立時 構成員数	令和4年度構 成員数	現時点 構成員数	設立からの 増加率	令和4年度か らの増加率	PF連携の有 無	研究開発コン ソーシアム数
バ-08	細胞外小胞を用いた農水包括的生物好循環サイクルの機能性強化のための革新的研究開発プラットフォーム	平成30年6月	田原 栄俊 (国)広島大学 医歯薬保健学研究所 細胞分子生物学教室 教授／副研究科長(研究担当)／創業・バイオマーカー拠点 拠点長／日本RNAi研究会会長 辻 典子 (株)腸管免疫研究所 科学アドバイザー 久野 美和子 (一社)フードビジネス推進機構 専務理事 高山 和江 (国)広島大学 学術社会連携室URA部門 シニアURA	3	13	13	333%	0%	無	2
バ-09	ゲノム編集動物研究開発プラットフォーム	平成30年7月	竹澤 慎一郎 (株)セツロテック 代表取締役	2	3	3	50%	0%	無	1
バ-10	植物成長制御物質研究開発プラットフォーム	平成30年12月	嶋田 幸久 公立大学法人 横浜市立大学 木原生物学研究所 教授	3	3	3	0%	0%	有	0
バ-11	バイオスティミュラント研究開発プラットフォーム	平成31年2月	榎谷 圭太郎 (国)山形大学 農学部 教授	11	11	11	0%	0%	無	0
バ-12	バイオマスを原料とする水素・化学品の革新生産技術の研究開発プラットフォーム	平成31年2月	空閑 重則 (国)東京大学 名誉教授／(同)EcoInformatics 有限責任社員	3	2	2	-33%	0%	無	0
バ-14	構造ベース創薬の技術研究開発プラットフォーム	令和2年2月	西ヶ谷 有輝 (株)アグロデザイン・スタジオ 代表取締役社長	2	2	2	0%	0%	無	0
バ-15	水産物における先進的育種プラットフォーム	令和5年2月	梅川忠典 リージョナルフィッシュ(株) 代表取締役社長	3		3	0%		無	0
バ-16	有機農業拡大のための土作り技術研究開発プラットフォーム		長谷川 慎 (学)関西文理総合学園 長浜バイオ大学 バイオサイエンス学部 教授／地域連携・産官学連携推進室 室長							0
バ-17	バイオスティミュラント活用による脱炭素地域づくり協議会	令和5年8月	大堂 由紀子 (株)AGRI SMILE	1		1	0%		無	0
バ-18	発酵・醸造及びその周辺技術に関する研究開発プラットフォーム		高橋孝太郎 (株)ダイヤモンドブルーイング 研究室長							0
合計				1286	3521	3652	247%	6.5%	31	390

表2. 他分野・他業種の参画について

産業領域	他分野・他業種の参画率別研究開発プラットフォーム数の分布				領域別 他分野の 参画率	
	0~25%以内 (他分野・他業 種の参画率)	~50%以内 (他分野・他業 種の参画率)	~75%以内 (他分野・他業 種の参画率)	~100%以内 (他分野・他業 種の参画率)		
ス: スマート農林水 産業及びスマート フードチェーン	9	4	5	13	31	45%
お: おいしくて健康に よい食づくり(産業基 盤の強化に向けた 連携促進)	7	7	8	7	29	45%
持: 持続可能な農林 水産業・食品産業 (地球規模・地域の 課題解決)	15	18	15	12	60	47%
外: 農林水産物・食品 の輸出促進、農林水 産・食品技術の海外 展開・国際共創	3	1	1	3	8	63%
バ: バイオテクノロ ジーを活用した新事 業創出	3	3	5	3	14	53%
合計	37 26%	33 23%	34 24%	38 27%	142	48%
(参考)R4年	29 21%	41 29%	31 22%	40 28%	141	47%
(参考)R3年	37 23%	41 25%	43 26%	42 26%	163	46%
(参考)R2年	37 25%	55 38%	37 25%	17 12%	146	-